

公益財団法人 前川財団セミナー

# 親と子どもの主体性が出会う子育て

目まぐるしく変化する社会の中で、子どもたちが主体的に学び、自らの考えを主張できる力がますます求められています。子どもたちが自分らしさを発揮し、学び、成長することは、本来能動的である子どもが周囲のさまざまなヒトやモノとの間で繰り広げる多様なやりとりを通じて実現されます。またその調整によって親をはじめとする周囲の大人たちの成長も促され、その結果大人と子どもの「共生」がもたらされます。

今回は『親と子どもの主体性が出会う子育て』をテーマに心理学的なアプローチや実践的な方法を取り上げます。子どもたちが自分らしく、豊かな未来を切り開く力を身につけるとともに、子育てにおいて親子が抱えがちな困難を低減するために、これからのあるべき子育ての姿について皆さまと考えたいと思います。

【参加費／無料】  
2024 / 2月10日(土) 13:00~14:30

## Zoomウェビナー



### 講演

#### 根ヶ山 光一氏

NPO法人  
保育:子育てアドバイザー協会  
理事長

日本乳幼児医学・心理学会理事長／早稲田大学名誉教授  
大阪大学大学院文学研究科博士課程退学。専門は発達行動学。  
大阪大学、武庫川女子大学、早稲田大学を経て現職。  
主な著書に『発達行動学の視座 <個>の自立発達の人間科学的探究』  
(金子書房)、『「子育て」のとらわれを超える—発達行動学的「ほどほど  
親子」論』(新曜社)、『アロマザリングの島の子どもたち:多良間島子別  
れフィールドノート』(新曜社)、共編著『共有する子育て:沖縄多良間島  
のアロマザリングに学ぶ』(金子書房)ほか多数。

## 『親と子どもの主体性が出会う子育て』

子育てとは、子どもと親が、周囲のヒトやモノも巻き込みながら主体的に互いの関係を調整し合う営みです。愛情ばかりではなく、分離や衝突も含むそのような関係の実像を共に見つめてみましょう。



### ディスカッション

#### コーディネーター 辻本 雅史氏

中部大学 顧問

京都大学名誉教授  
京都大学大学院教育学研究科博士課程退学。文学博士。専門は日本教育史、思想史。京都大学、台湾大学、中部大学などの教授を経て、現職。  
主な著書に『「学び」の復権:模倣と習熟』(角川書店、岩波現代文庫再刊)、『江戸の学びと思想家たち』(岩波書店)、『思想と教育のメディア史—近世日本の知の伝達』(ペリカン社)、『教育を「江戸」から考える—学び・身体・メディア』(日本放送出版協会)、『近世教育思想史の研究:日本における「公教育」思想の源流』(思文閣出版)ほか多数。

### 〈お申込方法〉

参加申込はWebにて受付いたします。下記のURLまたはQRコードよりお申込ください。  
[https://www.mayekawafoundation.org/seminar/seminar\\_20240210.html](https://www.mayekawafoundation.org/seminar/seminar_20240210.html)

※申込締切／2024年 2月8日まで



主催／公益財団法人 前川財団